



6月は環境月間です

明日、6月5日は環境の日で、6月の1ヶ月間は「環境月間」です。6月中は、関係府省庁や地方公共団体などにより全国で様々な行事が行われます。

2008年は京都議定書第1約束期間の始まりの年であり、また7月には北海道洞爺湖サミットが開催されるという国内外の環境保全の取組にとって重要な年です。

もちろん、当事務所でも取り組みに参加しています。冷暖房の設定温度、クールビズ・ウォームビズ、節電などなど。職員個人単位でも『うちエコ』を実践しています。例えば、温水便座のふたを閉める、こんなに簡単なことでも実は立派なエコなんです。自分にできることからひとつずつ、あなたも『チーム・マイナス6%』の一員へ。

事業の一端でみると、バイパスの開通によって交通の流れが変化し、二酸化炭素排出量の削減につながる、こんな貢献のしかたもあるんです。

渋滞解消で二酸化炭素排出削減

一般国道7号 浪岡バイパス開通による整備効果 (青森県青森市(旧浪岡町))

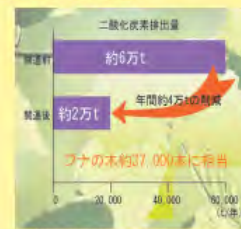
●浪岡バイパスは、平成16年11月27日に2区間4.7kmが部分供用し、これまでに合わせて8.4kmが暫定2車線で開通。

浪岡バイパスは、

1. 渋滞解消(大釈迦交差点)による移動時間の短縮
2. 交通の分散による、沿道環境の改善
3. 円滑な交通の確保による、環境負荷の軽減
4. 幹線道路としての機能を確保し、安心な暮らしをサポートを主な目的として整備された。



渋滞解消により、自動車の走行速度が向上し、二酸化炭素排出量が年間約4万t削減



浪岡バイパスは、青森市浪岡全区間の平成22年度の完成を目指していますから、さらに驚きの効果が出せるかも!?